

定期作況報告

(第2号 平成18年6月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より1.3 低く、最低気温も平年より1.5 低かった。降水量は平年より12.9 多かった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より3.5時間少なく、平年対比94%であった。夏日（最高気温25 以上）は1日であった。

6月上旬：最高気温は平年より2.3 低く、最低気温は平年より0.5 高かった。降水量は平年より8.7mm多かった。降水日数は平年と同じであった。日照時間は平年より31.1時間少なく、平年対比46%であった。夏日は無かった。

6月中旬：最高気温は平年より0.1 高く、最低気温も平年より1.6 高かった。降水量は平年より9.9mm少なかった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より15.6時間少なく、平年対比68%であった。夏日は延べ3日であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.0	20.3	1.3	18.5	20.8	2.3	22.6	22.5	0.1	20.0	21.2	1.2
最低気温()	7.0	8.5	1.5	9.4	8.9	0.5	13.1	11.5	1.6	9.7	9.6	0.1
平均気温()	13.2	14.3	1.1	13.5	14.6	1.1	17.4	16.7	0.7	14.6	15.2	0.6
降水量()	40.0	27.1	12.9	34.5	25.8	8.7	9.5	19.4	9.9	84.0	72.3	11.7
降水日数(日)	6	4	2	4	4	0	1	3	2	11	11	0
日照時間(h)	51.4	54.9	3.5	26.5	57.6	31.1	33.1	48.7	15.6	111.0	161.2	50.2

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稻 : やや不良

事由：移植は中苗、成苗とも平年並の5月19日に行った。移植後から6月上旬にかけて気温がやや低く、日照不足の状態が続いたため、苗の植え傷みが目立ち、活着は緩慢であった。分けつの発生もかなり遅れた。

6月20日現在、主稈葉数は中苗2品種で平年より0.5枚程度少なく、成苗「きらら397」は平年並であった。当たり茎数は中苗、成苗とも平年より200本弱少なく、平年の三分の二程度となった。草丈は中苗、成苗とも平年より若干高かった。

以上、6月中旬以降の生育は回復傾向にあるものの、茎数および中苗の主稈葉数の増え方が平年に比べ緩慢であるため、目下の作況は「やや不良」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名	苗	主稈葉数 (枚)			茎 数 (本/)				草 丈 ()		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら 397	中苗	7.4	8.0	0.6	337	524	187	64	28.3	27.7	0.6
ほしのゆめ	中苗	7.0	7.5	0.5	325	506	181	64	30.6	29.2	1.4
きらら 397	成苗	8.3	8.3	0.0	420	617	197	68	32.0	30.1	1.9

注1) 平年値は平成11～17年7カ年のうち平成13年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施肥量 : N、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ8.0、9.7、6.9(/10a)、堆肥を2t/10a

栽植密度 : 25株/ (33.3 × 12.0)

植え本数 : 中苗 ; 4本/株、成苗 ; 3本/株

移植日 : 中苗、成苗とも5月19日

2) 秋まき小麦 : やや不良

事由：前節以降、6月上旬が低温に経過し、全般に日照時間が少なく経過したため、出穂期は平年より2日遅かった。また、草丈は平年並みであるが、茎数は少ない。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホ ク シ ン	6.12	6.10	2	92.3	92.4	0.1	631	718	87

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

3)大豆 : やや不良

事由：播種期は5月16日で、平年より3日早かった。その後、気温がやや低く経過したため、出芽期は平年並みとなった。出芽後は気温がやや低く、日照時間も少なかったため、主茎長、主茎節数は平年をやや下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表4 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 ()			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6. 1	6. 2	1	9.3	11.3	2.0	3.3	3.6	0.3
トヨコマチ	6. 2	6. 2	0	13.0	13.4	0.4	3.8	4.1	0.3
ユキホマレ	6. 2	5.31	2	10.8	13.8	3.0	3.9	4.0	0.1

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、17年を除く5か年の平均値。ただし、「ユキホマレ」については平成13年から17年の5か年の平均値で、参考値である。

2) は平年より早、 は平年より減を示す。

4)小豆 : やや不良

事由：播種期は5月25日で平年より4日遅かった。6月上旬が低温に経過し、出芽期は平年より4～5日遅く、主茎長、本葉数は平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 ()			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	6.10	6. 5	5	3.8	4.2	0.4	0.9	1.2	0.3
エリモショウズ	6.10	6. 6	4	3.9	4.7	0.8	0.8	1.2	0.4

注1) 平年値は、前8か年中、平成15年(最豊)、平成16年(最凶)及び平成12年(茎疫病多発)を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5) ばれいしょ : やや不良

事由：植付期は5月9日で平年より3日遅かった。その後、5月下旬は気温がやや低く経過したため、萌芽期は平年より5日遅かった。萌芽後、6月上旬は低温に経過し、また全般に寡照傾向が続いたため、茎長は平年をやや下回っている。なお、既に着蕾はみられるが、開花には至っていない。したがって、目下の作況はやや不良である。

表6 6月20日のばれいしょの生育

品種名	萌芽期(月日)			開花始(月日)			茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵いも	5.30	5.25	5		6.22	-	33.5	36.2	2.7

注1) 平年値は、前7か年中、平成11年、16年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5月20日の時点で播種していなかった小豆の耕種概要は以下の通りです。

表7 小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦巾	株間	1株本数(本)	株数(株/10a)	施肥量(Kg/10a)				
						N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
小豆	ばれいしょ	60	20	2	8,333	3.0	12.0	7.0	3.0	-